8-1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2005年5月~2005年10月) Seismic Activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts (May 2005 - October 2005)

気象庁·大阪管区気象台

Osaka District Meteorological Observatory, JMA

今期間,近畿・中国・四国地方とその周辺で M4.0以上の地震は 12 回発生した. M5.0以上の地 震は発生しなかった. このうち大阪管内で最大のものは,2005 年 5 月 27 日に徳島県北部で発生し た M4.7 であった.

2005年5月~2005年10月のM4.0以上の震央分布を第1図に示す.

主な地震活動は次の通りである(第2~4図).

2005年

月 日	震央地名	規模(M)	深さ (km)	最大震度	
5月25日	豊後水道	4.6	54	3	(第3図)
5月27日	徳島県北部	4.7	42	3	(第2図)
9月4日	伊予灘	4.3	54	3	(第4図)



近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2005年5月~7月、M≧4.0)





Α

震央分布図(1997年10月以降, M≥1.0, 深さ20km~60km)



2005 年 5 月 27 日 03 時 17 分に香川・徳島・愛媛県境 付近 [徳島県北部] の深さ 42km で M4.7 (最大震度 3) の地震が発生した. この地震はフィリピン海プレート内 部の地震である. 発震機構は東西方向に張力軸を持つ横 ずれ断層型で,付近の地震によく見られるタイプある. 余震活動は 5 月 27 日中に 6 回 (最大 M2.9) 観測された が,その日のうちに収まった.

今回の地震の震源付近では、2005年に入って、M3クラスの地震の数が若干増加している.(A))



В

震央分布図(1923 年 8 月以降, M≧4.0, 深さ 20~60km)



1923 年 8 月以降の活動をみると,今回の地震の 震源付近およびその周辺(領域b)では,M5.0以 上の地震が4回発生しているが,1964 年 11 月 9 日(M5.1)以降は発生していない.(**B**)



第2図 徳島県北部の地震活動

Fig.2 Seismic activity in the northern part of Tokushima prefecture.



2005年5月25日20時31分に豊後水道の 深さ54kmでM4.6(最大震度3)の地震が発 生した.発震機構は西南西-東北東に張力軸 を持つ横ずれ断層型で,フィリピン海プレー ト内部の地震である.張力軸の方向はこの付 近のプレート内部の地震によく見られる.余 震はM2.0未満の地震が1回観測したのみで ある.今回の地震の震源付近では,M4~M5 程度の地震が時々発生している.(**人**)



1923 年8月以降の活動をみると,今回の地 震の震央付近では,1968年8月6日のM6.6の 地震が最大である.最近のM5.0以上は,1993 年8月14日のM5.3の地震である.(**B**)



第3図 豊後水道の地震活動 Fig.3 Seismic activity in the Bungo channel.



В

震央分布図(1923年8月以降, M≧4.0, 深さ20km 以深)



第4図 伊予灘の地震活動 Fig.4 Seismic activity in the Iyonada (the west coast of Shikoku).